

本市における幼児教育及び保育のあり方に関する答申書【概要】

～白石市学校教育・保育審議会～

－社会全体の力を借りながら、すべての子どもと家庭を「丸ごと」支える－

急激な少子化や社会環境の変化により、子育て環境も多様化しています。白石市学校教育・保育審議会（以下「審議会」）では、令和4年3月に、白石市教育委員会教育長から「子どもたちの未来に向かってはばたく力を育む環境構築について」諮問を受け、およそ10ヶ月間の審議を重ね、令和5年3月20日に「幼児教育・保育のあり方に関する事項」としてとりまとめ、白石市教育委員会教育長へ答申しました。

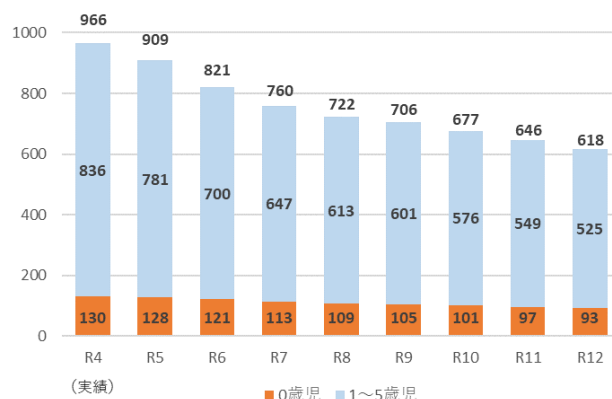
審議会は、本市の現状と課題をふまえ社会全体の力を借りながら、すべての子どもと家庭を「丸ごと」支える施策について審議し、我が国が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向け、本市の幼児教育・保育の方向性についてまとめました。

【課題】

- 未就学児の減少
- 施設面の老朽化
- 特別な支援を要する家庭と子どもへの対応
- 関係法令の改正等に伴う市や保育士の役割の広がり

本市の未就学児の人口を国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（H30推計）」に基づき試算⇒

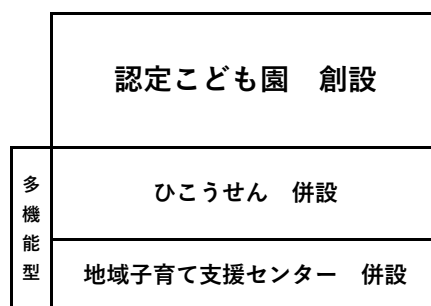
未就学児の人口推移（予測）（単位：人）



幼児教育・保育ビジョン「豊かな出会い」を仕掛ける提案

「おもしろい豊かな出会い」を仕掛ける拠点として、認定こども園を軸とした多機能型複合施設の整備を提案

- ① 公立幼稚園・保育園を集約し、幼児教育・保育を一体的に提供できる「認定こども園（※1）」の整備
- ② 特別な配慮や支援を要する子どもや家庭に対応するため、「ひこうせん（児童発達支援通所施設）」と「地域子育て支援センター」、「ファミリー・サポート・センター」併設の多機能型複合施設



- ・保育と療育の連携、インクルーシブ保育（※2）の実現
- ・保育士支援、人材育成機能の付加
- ・子育て相談機能の拡充

※1 認定こども園：保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れ、教育・保育を一体的に行う機能や地域における子育て支援を行う機能を持った施設
※2 インクルーシブ保育：障害のあるなしにかかわらず、全てのこどもが育ち合う保育



白石市の幼児教育・保育ビジョン

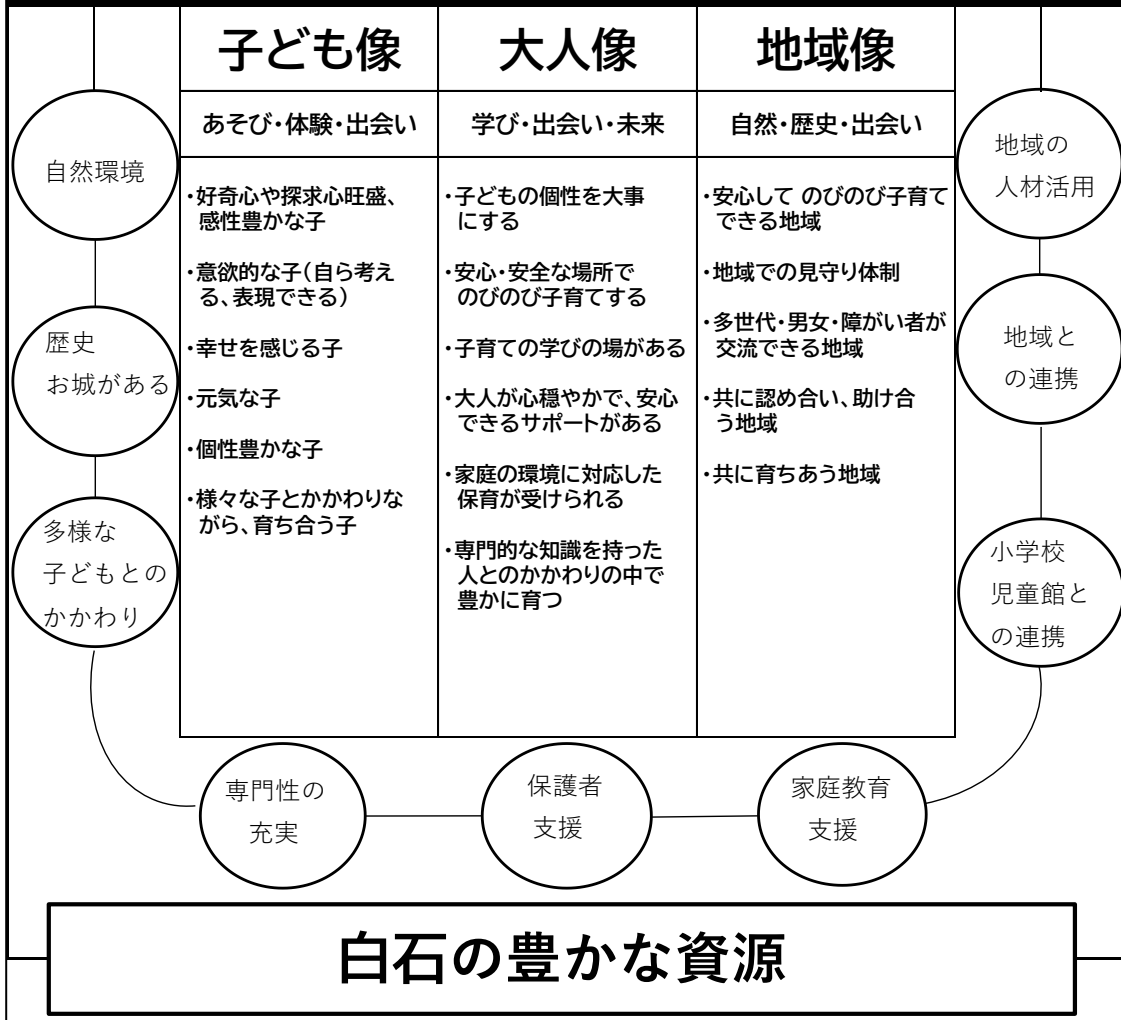
<就学前教育・保育の重要性>

- ・常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもをだれ一人取り残さず健やかな成長を社会全体で後押しする。
- ・乳幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期であることを踏まえ、多様な資質を豊かに伸ばしていく。
- ・乳幼児の家庭と密接に連携をとりながら子どもが安心して育つことができる環境を整える。

目指す子ども像

日々の生活が「おもしろい(楽しい)」と思える子ども

おもしろいしの豊かな出会い ～しろいしの豊かな環境を生かして～



～いきいきとした心豊かな子どもを育てる～

※市は、審議会からの答申を受け、今後、市民の皆様からご意見をいただき、市方針（案）を取りまとめる予定です。

【問い合わせ先】 白石市学校教育・保育審議会事務局

(教育委員会学校管理課：22-1342、子ども家庭課：22-1363)